

業績（～2014）

I 著書

- 1 嶋村 正, 山崎 健, 村上秀樹. 腰痛の診断と治療. 真興交易 (株) 医書出版部編集. 腰痛・五十肩の診断と治療. 第 1 版. 東京; 1998: 81-91.
- 2 山崎 健. 基本的診察法 四肢・脊柱の診察. 千田勝一・鈴木一幸・小川 彰編. 基本臨床技能修得マニュアル. 第 1 版. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2001 : 82-102.
- 3 山崎 健. 基本的検査・基本手技 穿刺、ドレナージ、関節穿刺法. 千田勝一・鈴木一幸・小川 彰編. 基本臨床技能修得マニュアル. 第 1 版. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2001 : 254-6.
- 4 嶋村 正, 山崎 健, 加藤貞文. 単純 X 線、脊髄造影と CT・CTM. 越智隆弘・菊地臣一編 New Mook 整形外科; 9 巻 腰部脊柱管狭窄 (症). 第 1 版. 東京: 金原出版株式会社 : 2001; 89-98.
- 5 山崎 健. 頭痛と頸椎疾患. 東儀英夫編. よくわかる 頭痛・めまい・しびれのすべて一鑑別診断から治療まで. 第 1 版. 東京: 永井書店; 2003: 116-26.
- 6 山崎 健. 基本的診察法 四肢・脊柱の診察. 千田勝一・鈴木一幸・小川 彰編. 基本臨床技能修得マニュアル. 第 2 版. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2004 : p83-106.
- 7 山崎 健. 基本的検査・基本手技 穿刺、ドレナージ、関節穿刺法. 千田勝一・鈴木一幸・小川 彰編. 基本臨床技能修得マニュアル. 第 2 版. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2004 : 261-3.
- 8 山崎 健. 脊柱変形に対する後方矯正固定法マニュアル. 大阪: アルフレッサファーマ株式会社; 2010 : 1-46
- 9 山崎 健. 脊柱変形に対する後方矯正固定法マニュアル (改訂版). 大阪: アルフレッサファーマ株式会社 ; 2013 : 1-114
- 10 山崎 健、脊柱側弯症, 永井良三、太田 健編. 今日の治療と看護 改訂第 3 版、東京: 南江堂 ; 2013 : 1024-1026
- 11 山崎 健. ワイヤリング・テーピング、野原 裕、鈴木信正、中原進之助編、新脊椎インストゥルメンテーションーテクニカルポイントと合併症対策; 2014 ; 55-58

II 総説

- 1 山崎 健. 脊椎・脊髄損傷について. 1988 ; 健康機器. 1988 ; 16 : 3-14.
- 2 山崎 健. 脊椎分離・すべり症の診断と治療. 薬局. 1992 ; 43 : 111-116.
- 3 山崎 健. 地域医療にはたす理学療法への役割. 理療. 1994 ; 24 : 52-57.
- 4 山崎 健. NSAID 基礎・臨床シンポジウム 一頸肩腕症候群にたいするインドメタシンファルネシルの効果一. メディカルトリビュン. 1995 ; 4 : 19-20.
- 5 山崎 健. 腰椎疾患の術後変化. 臨床画像. 2001; 17. : 438-446.
- 6 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有. 腰椎変性すべり症の画像診断と手術療法. MB Orthop. 2002; 15 : 101-109.

- 7 山崎 健. 頰椎疾患由来の頭痛. 医学のあゆみ. 2005;215 : 1181-1185.
- 8 山崎 健. 脊柱側弯症—乳幼児期から成人期まで—. 關節外科. 2012 ; 31 ; 158-167

III-1 原著 (英文)

- 1 Yamazaki K, Tajima K, Nishida J, Shimamura T, and Abe M. Case report 525, Skeletal Radiol.1989; 18 : 306-9
- 2 Shimamura T, Abe M, Yamazaki K, Kan Y, and Suzuki M. Sagittal Splitting Laminoplasty for Spinal and Spinal Cord Surgery. Spinal Disorders in Groeth and Aging.1995 : 287-92.
- 3 Ehara S, Shimamura T, Nakamura R, and Yamazaki K. Paravertebral ligamentous ossification: DISH, OPLL and OLF. European Journal of Radiology. 1998; 27:196-205.
- 4 Shimamura, T., Kato S, Toba T, Yamazaki K, and Ehara S. Sagittal Splitting Laminoplasty for Spinal Canal Enlargement for Ossification of the Spinal Ligaments (OPLL and OLF). Seminars in Musculoskeletal Radiology. 2001; 5 : 203-6.
- 5 Yamazaki K, Yoshida S, Ito T, Toba T, Kato S, and Shimamura T. Postoperative outcome of lumbar spinal canal stenosis after fenestration J. of Orthop. Surg. 2002; 10 : 136-43
- 6 Murakami H, Yamazaki K, Attallah ES, Tsai KJ, Shimamura T and Hutton WC. A Biomechanical Study of 3 Different Types of Sublaminar Wire Used for Constructs in the Thoracic Spine : J. Spinal Disord. Tech. 2006; 19 : 442-6.
- 7 Murakami H, Tsai KJ, Attallah ES, Yamazaki K, Shimamura T and Hutton WC. A Biomechanical Assessment of Infra-Laminar Hooks as an Alternative to Supra-Lumbar Hooks in Thoracolumbar Fixation: Spine 2006; 31 : 967-71.
- 8 Konno S, Kikuchi S, Tanaka Y, Yamazaki K, Shimada Y, Takei H, Yokoyama T, Okada M, and Kokubun S. A diagnostic support tool for lumbar spinal stenosis : a self-administrated, self-reported history questionnaire : BMC Musculoskeletal Disorder. 2007 ; 8 : 96-102.
- 9 Yamazaki K, Shimamura, T, Kato S. Evaluation of posterior corrective fusion for idiopathic scoliosis using Tekmilon tape. : Eur spine J. 2008: 17: 205-208.
- 10 Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Uno K, Matsumoto M, Watanabe K, Yamamoto T, Hirano T, Taneichi H, Yamazaki K, and Fujiwara K. Radiographic analysis of the progression of congenital scoliosis with rib anomalies during the growth period: Argo spine. News & Jurnal. 2012 ; 24 ; 56-61
- 11 Watanabe K, Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Ito M, Hirano T, Yamazaki K, Minami S, Kotani T, Taneichi H, Imagama S, Takeshita K, Yamamoto T, Matsumoto M. Risk Factors for Complications Associated With Growing-Rod Surgery for Early-Onset Scoliosis: Spine. 2013: 38(8) : 464-468.

- 12 Yamazaki K, Murakami.H. Incidence of surgery after brace treatment in patients with adolescent idiopathic scoliosis (AIS) : Spine Deformity. 2013;1: (in print)

Ⅲ-2 原著 (和文)

- 1 上徳善也, 長澤敏明, 山崎 健, 林 節, 奥田則雄, 鎌田俊之. 鏡視下膝半月板部分切除の経験. 東北整災紀要. 1982;25 :179-183.
- 2 猪狩 忠, 斉藤 満, 原田 斎, 山崎 健. 肘関節尺側進入法における尺骨神経の処置. 日関外誌. 1983; 2 : 385-389.
- 3 山崎 健, 岩崎隆夫, 長澤敏明, 田澤睦夫, 遠藤 崇, 櫛引孝昌. Lumbar spinal CT の検討 —形態的变化を中心に—. 東北整災紀要. 1983 ;26. : 152-162 .
- 4 山崎 健. Computer tomography による腰椎後方要素の定量的検討. 岩手医誌. 1985;37:759-780.
- 5 山崎 健, 工藤浩一, 菅 栄一, 嶋村 正, 林 節. 腰椎手術前後の CT myelography の検討. 東北整災紀要. 1986; 30 : 277-282.
- 6 嶋村 正, 山崎 健, 加藤貞文, 飯塚 仁. 頸髄症に対する棘突起縦割法脊柱管拡大術の臨床成績とその問題点. 整形外科. 1989;40: 269-275.
- 7 嶋村 正, 山崎 健, 徳永三郎, 林 節, 金子 洋, 鈴木正弘. Transpedicular screwing による腰椎固定の一法. 手術. 1989;43:81-86.
- 8 林 節, 嶋村 正, 山崎 健, 阿部正隆, 宗像秀樹, 鈴木正弘, 西田 淳. 腰椎椎間板ヘルニア—migrated type, 他疾患合併の術前, 術中所見を中心として—. 東北整災紀要. 1989;33 : 370-376.
- 9 林 節, 嶋村 正, 山崎 健, 西田 淳, 高山 肇, 阿部正隆. 胸椎脊椎炎の治療経験. 1991 ; 3 :361-363.
- 10 菅 義行, 阿部正隆, 嶋村 正, 山崎 健, 林 節, 吉野裕之, 久保谷康夫, 折居俊彦. MRI を用いた神経根描出の検討—下位腰仙髄神経根について—. 東日本臨整会誌. 1991 ; 3 :46-48.
- 11 本田 恵, 猪又義男, 宍戸 博, 佐々木文春, 山崎 健. 変股症患者の腰椎 X線像の検討. Hip Joint. 1992 ; 18 : 9-12.
- 12 大狭由佳, 嶋村 正, 山崎 健, 林 節, 阿部正隆, 和田俊夫, 一戸克明, 菅 栄一, 原田 斎. 腰椎外側開窓の経験. 東北整災紀要. 1992; 36 : 32-35.
- 13 嶋村 正, 阿部正隆, 西田 淳, 山崎 健, 室岡玄洋, 小成嘉誉. 胸郭出口症候群と頸椎疾患. 東日本臨整会誌. 1994;6: 431-434.
- 14 嶋村 正, 山崎 健, 一戸克明, 薄井知道, 小野寺智彦, 阿部正隆. 脊椎転移性腫瘍手術例の検討. —手術成績と患者満足度—. 東日本臨整会誌. 1995;7: 7-10.
- 15 嶋村 正, 山崎 健, 折居俊彦, 青木 裕, 荒木信吾, 阿部正隆. 脊椎・脊髄手術の剥離子. 脊椎・脊髄. 1995;8: 311-314.
- 16 山崎 健, 嶋村 正, 一戸克明. 移動性脊髄腫瘍の治療経験. 中部整災誌. 1995 ; 38 :1021-1022.
- 17 嶋村 正, 山崎 健, 西田 淳, 村上秀樹, 一戸克明, 阿部正隆. 胸郭出口

- 症候群と頸椎頸髄疾患. 脊椎・脊髄. 1996;9: 517-522.
- 18 鳥羽 有, 嶋村 正, 西田 淳, 山崎 健, 白石秀夫, 室岡玄洋, 阿部正隆. 好酸球性肉芽腫の検討. 整形外科. 1996; 47:567-572.
 - 19 神岡斗志夫, 山崎 健, 嶋村 正, 本田 恵, 阿部正隆. 超高齢者大腿骨頸部骨折の治療後歩行能力と予後. 東北整災紀要. 1997 ;41 : 246-250.
 - 20 山崎 健, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 嶋村 正. 移動性脊髄・馬尾腫瘍—自験例 10 例と文献的考察—. 整形外科. 1998; 49 : 1582-1587.
 - 21 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 阿部正隆. T-saw による頸椎椎弓形成術の経験—施行不能、困難例の検討—. 東北整災紀要. 1998; 42 : 8-11.
 - 22 山崎 健, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 嶋村 正. Threadwire saw (T-saw) による頸椎椎弓形成術 — 手技、適応と限界について—. 整形外科. 1999 ; 50 : 1631-1634.
 - 23 山崎 健, 吉田知史, 伊藤 崇, 鳥羽 有, 加藤貞文, 嶋村 正. MRI による腰部脊柱管狭窄症の術後評価 —開窓術後の硬膜管内外の変化—. 別冊整形外科. 2000 ; 38 : 220-225.
 - 24 山崎 健. EBM からみた整形外科手術. 整形外科 2000; 51. : 392.
 - 25 山崎 健, 村上秀樹, 鳥羽 有, 加藤貞文, 嶋村 正. 特発性側彎症に対してテクミロンテープを用いた後方矯正固定術 (Isola 法) の検討. 脊柱変形. 2003; 18 : 102-106.
 - 26 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 嶋村 正. 脊柱変形に対してテクミロンテープを用いた後方固定術. 日本脊椎インストゥルメンテーション学会誌. 2004 ; 3; 46-50.
 - 27 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏. 腰椎変性すべり症の術後成績と満足度—固定群・非固定群の比較. 別冊整形外科. 2006; 50: 200-206.
 - 28 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 山崎 健, 嶋村 正. 関節リウマチに対する椎弓根スクリュー使用による後頭頸椎再検術—鋼線締結法との比較・検討—. 別冊整形外科. 2006;50 : 102-107.
 - 29 佐藤和宏, 村上秀樹, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. 頸椎脱臼骨折に対する椎弓根スクリューを使用した後方固定術. 別冊整形外科. 2006; 50 : 113-116.
 - 30 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 思春期特発性側彎症に対して Rod Rotation Maneuver (RRM) と Ultra High Molecular Weight Polyethylene (UHMWP) テープを用いた後方矯正固定の検討. 脊柱変形. 2006; 21: 120-126.
 - 31 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美、嶋村 正. 特発性側彎症に対するロッド回転式矯正法の限界. 脊柱変形. 2008; 23 : 138-141.
 - 32 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後成績—拡大開窓術後 10 年以上経過例の検討—. 整形外科. 2009;60 : 407-412.

- 33 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症に対する三次元矯正固定法—vertebral column manipulation(VCM)を用いた矯正法. J. Spine. Res. 2010; 1 : 1812-1817.
- 34 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏、嶋村 正. 特発性側弯症に対する Dual rod rotation with hook rotation maneuver (DRHRM). Journal of Spine Research .2010 ; 1: 2050-2054.
- 35 村上秀樹, 山崎 健. 特発性側弯症に対するコンピュータ・ナビゲーション手術. 内視鏡・ナビゲーションを併用した脊椎手術. OS Now. 2010; 14 : 139-148.
- 36 島谷剛美, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症患者における患者アウトカム評価の検討. J. Spine. Res. 2010; 1: 2087-2095.
- 37 島谷剛美, 内村瑠里子, 佐藤正義, 山部大輔, 山崎 健, 嶋村 正. 特発性側弯症患者における患者アウトカム評価の検討. 岩手医誌. 2010;6: 337-35.
- 38 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 内村瑠里子, 八重樫幸典, 嶋村 正. ナビゲーション下特発性側弯症手術における椎弓根スクリュー誤刺入の危険因子. J. Spine. Res. 2010; 1 : 1844-1846.
- 39 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 川村竜平, 佐藤正義, 嶋村 正. 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折後偽関節に対する後方手術の比較検討. J. Spine. Res. 2010 ; 1 : 1982-1985.
- 40 山崎 健. 特発性側弯症に対する Dual rod rotation with hook rotation maneuver (DRHRM). Clinical case report NO.5 Mykres Spinal System, Century Medical Inc. 2010.
- 41 山崎 健. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査と QOL 調査—地方都市における一般住民の有病率と健康関連 QOL 調査—. MB Orthop. 2010; 23 : 11-18.
- 42 内村瑠里子, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 脊柱側弯症術後の血液・毛髪内チタン濃度に関する検討. J. spine Res. 2011; 2 :1770-1774. (Best paper)
- 43 内村瑠里子, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 鈴木 忠, 嶋村 正, 世良耕一郎. 脊柱側弯症術後の血液・毛髪内チタン濃度に関する検討. 岩手医科雑誌. 2011;63:239-248.
- 44 山崎 健. 乳幼児脊柱変形に対し Dual Growing Rod 法を用い、上下固定端に椎弓根スクリューによるアンカーを作成した症例の臨床的研究—脊柱由来の胸郭不全症候群の実態調査とその診断・治療方針の検討. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業平成 22 年度総括研究報告書. 2011;1;31-34
- 45 山崎 健. 岩手県における脊柱変形由来の胸郭形成不全の発生頻度に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業平成 22 年度総括研究報告書. 2012;1;25-26
- 46 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美、嶋村 正. 牽引下 3D-CT による側弯カーブの flexibility の三次元的評価. J. spine Res. 2011; 2 :1740-1744.

- 47 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 菊池孝幸, 嶋村 正. 牽引下 CT による Lenke type 1 の矢状面カーブの検討. J. spine Res. 2012; 3 :1439-1443.
- 48 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 菊池孝幸, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査— 一般住民の有病率と健康関連 QOL 調査. J. spine Res. 2013; 4 :158-163
- 49 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 菊池孝幸, 嶋村 正. 思春期の胸腰椎・腰椎側弯症に対する後方矯正固定法. 別冊整形外科. 2013 ; 63 : 248-252
- 50 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 菊池孝幸, 嶋村 正. 思春期の脊柱変形 6. 装具療法—適応と限界— 整形外科. 2013; 64 : 806-811
- 51 大和 雄, 松山幸弘, 伊東 学, 山崎 健, 種市 洋, 松本守雄, 田中雅人. 成人脊柱変形の QOL 障害に関連する画像パラメーター 整形外科. 2013; 64 : 841-844
- 52 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 熊谷瑠里子. 思春期特発性側弯症に対する装具療法の治療成績. J. spine Res. 2013;4 : 101-106 (in print)
- 53 山崎 健, 村上秀樹, 張簡鴻宇, 熊谷瑠里子. 思春期特発性側弯症の矯正固定法の進歩, 別冊整形外科 64. 2013 : 88-93

IV-1 症例報告 (英文)

- 1 Tajima K, Nishida J, Yamazaki K, Shimamura T, and Abe M. Case report 545, Skeletal Radiol. 1989; 18 : 306-9.

IV-2 症例報告 (和文)

- 1 山崎 健, 上徳善也, 菅 栄一. 足関節に発生した骨軟骨腫症の 2 例. 東北整災紀要. 1981; 24 : 153-157.
- 2 長澤敏明, 山崎 健, 岩崎隆夫, 田澤睦夫. Redundant nerve roots の 2 例. 東北整災紀要. 1983;26 : 162-168.
- 3 西田 淳, 阿部正隆, 山崎 健, 曾根信介. Maffucci 症候群の 2 例. 東北整災紀要. 1984 ; 28. : 72-78.
- 4 西田 淳, 菅 栄一, 嶋村 正, 曾根信介, 山崎 健. 肋骨に発生した骨腫瘍類似疾患の 4 例. 東北整災紀要. 1986; 29: 336-339.
- 5 徳永三郎, 本田 恵, 嶋村 正, 菅 栄一, 山崎 健, 工藤浩一, 櫛引孝昌. 比較的まれな坐骨腫瘍 2 症例. 東北整災紀要. 1986 ; 30 : 336-339.
- 6 工藤浩一, 山崎 健, 嶋村 正, 小笠原真弓. 頸椎前縦靭帯骨化により嚥下困難をきたした 1 例. 東北整災紀要. 1988 ; 32 : 57-61.
- 7 大狭由佳, 嶋村 正, 山崎 健, 鈴木正弘, 佐々木文春. 膀胱直腸障害を呈した腰椎椎間板ヘルニアの 3 例. 東北整災紀要. 1988;32:314-319.
- 8 徳永三郎, 山崎 健, 鈴木啓之, 西田 淳, 阿部正隆. 椎弓に発生した骨肉腫の 1 例. 東北整災紀要. 1988; 32. : 69-72.
- 9 奥田 聡, 山崎 健, 嶋村 正, 菅 義行, 阿部正隆. 椎体侵食を伴った腰椎部砂時計腫の 1 例. 東北整災紀要. 1992; 36 : 103-105.
- 10 奥田 聡, 山崎 健, 嶋村 正, 菅 義行, 鈴木正弘, 阿部正隆. 多発性頸

- 髄神経鞘腫の1例. 東北整災紀要. 1992;36: 387-31.
- 11 坂本公児, 嶋村 正, 山崎 健, 阿部正隆, 宗像秀樹, 鳥羽 有. 末梢側馬尾がコイル状に捻転していた移動性馬尾腫瘍の1例. 整形外科. 1995;46: 733-735.
 - 12 山崎 健, 嶋村 正, 薄井知道, 小野寺智彦, 沼田徳男, 阿部正隆. 二点式シートベルト着用の腰椎損傷陳旧例2例の手術経験. 東日本臨整会誌. 1995 ; 7 : 524-528.
 - 13 五十嵐康美, 本田 恵, 遠藤 崇, 山崎 健. 転倒により容易にステムの折損をきたした人工上腕骨頭の1例. 関節外科. 1987; 6 : 113-115.
 - 14 田島克己, 西田 淳, 山崎 健, 嶋村 正. 頸部脊柱管内に発生した solitary osteochondroma の1例. 東北整災紀要. 1988; 31: 254-257.
 - 15 大狭由佳, 嶋村 正, 山崎 健. 腰椎穿刺後に発生したと考えられる脊柱管内 epidermoid cyst の1例. 東北整災紀要. 1989;33 : 113-116.
 - 16 鈴木正弘, 嶋村 正, 山崎 健, 西田 淳, 林 節, 佐藤 孝. 脊髄サルコイドーシスの1例. 整形外科. 1990;41; 1816-1819.
 - 17 田島吾郎, 西田 淳, 白石秀夫, 嶋村 正, 山崎 健, 阿部正隆. Peripheral neuroblastoma と考えられた1例. 東北整災紀要. 1991;35:339-341.
 - 18 薄井知道, 嶋村 正, 山崎 健, 菅 義行, 阿部正隆. 高齢者の化膿性脊椎炎の1例. 東北整災紀要. 1991;35; 352-354.
 - 19 飯塚 仁, 嶋村 正, 山崎 健, 阿部正隆, 鈴木善明, 泉山信兒. 9才児の腰椎椎間板ヘルニアの1症例. 東北整災紀要. 1991;35;93-96.
 - 20 小成嘉誉, 嶋村 正, 山崎 健, 鳥羽 有, 伊藤浩司, 阿部正隆. 環椎椎弓欠損・前弓癒合不全の1例. 東北整災紀要. 1993;37;15-17.
 - 21 鳥羽 有, 嶋村 正, 山崎 健, 宍戸 博, 伊藤浩司, 阿部正隆. 小児の腰仙部内類上皮嚢腫の1例. 整形外科. 1996 ;47 : 1187-1189.
 - 22 山崎 健, 遠藤 威, 村上秀樹, 小成嘉誉, 嶋村 正. 移動性を有した脊柱管内 epidermoid cyst の1例. 臨床整形外科. 1998;33 : 1137-1140.
 - 23 後藤浩正, 山崎 健, 加藤貞文, 宗像孝佳, 嶋村 正. 多発性骨髄腫による脊髄麻痺の3例. 東北整災紀要. 1998;42 : 168-171.
 - 24 後藤浩正, 山崎 健, 加藤貞文, 室岡玄洋, 嶋村 正, 及川修次. 環軸椎後方骨性狭窄による頸髄症の1例. 整形外科. 1999; 50 : 267-270.
 - 25 村上秀樹, 山崎 健, 加藤貞文, 小成嘉誉, 嶋村 正. 頸椎脊柱管内に発生した endodermal cyst の1例. 整形外科. 1999; 50 : 1079-1081.
 - 26 山崎 健, 小成嘉誉, 加藤貞文, 村上秀樹, 嶋村 正. 頸椎分離すべり症の1例. 整形外科. 1999; 50 : 37-39.
 - 27 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 吉田知史, 吉田 渡, 伊藤 崇. 第5腰椎破裂骨折の2手術例. 整形外科. 2000 ;51 : 293-296.
 - 28 荒木信吾, 山崎 健, 村上秀樹, 小成嘉誉, 加藤貞文, 嶋村 正. 胸椎に発生した動脈瘤様骨嚢腫(ABC)の1例. 東日本整災会誌. 2000; 12. : 100-103.
 - 29 赤坂俊樹, 双木 慎, 鳥羽 有, 加藤貞文, 山崎 健, 嶋村 正. 腰椎椎間

板ヘルニアに伴う疼痛性側弯の1例. 整形外科. 2002; 53 : 163-166.

- 30 菅原 敦, 村上秀樹, 吉田知史, 遠藤寛興, 佐藤和宏, 山崎 健, 嶋村 正. 後方除圧後に腫瘤縮小を認めた歯突起後方疑腫瘍の1例. 臨床整形外科. 2008;43 :719-724.

V-1 特別講演 (国際学会)

1. Yamazaki K. Infection after surgical treatment of adolescent idiopathic scoliosis. The 5th Sino-Japan Symposium; 2010 ; Dongguan. China.

V-2 特別講演 (国内学会)

1. 山崎 健. Early onset scoliosis(EOS)から思春期特発性側弯症の診療について. AO spine local seminar; 2008 ; 仙台
2. 山崎 健. 岩手県における側弯症診療の現況と問題点. 第28回岩手県学校保健・学校医大会 ; 2012 ; 盛岡

V-3 シンポジウム (国際学会)

1. Yamazaki K, Shimamura T, Kato S, Murakami H, Konari Y, Honda M, Abe M. Postoperative evaluation of lumbar spinal canal stenosis. '97 Guangdong international spine symposium ; 1997; Guangdong. China
2. Yamazaki k, Kato S, Toba T, Shimamura T. Postoperative outcome of Lumbar Spinal Canal Stenosis. Asian Pacific Orthopaedic Association 13th Triennial Congress, symposium "Lumbar Spinal Canal Stenosis" ; 2001; Adelaide. Australia.
3. Yamazaki K, Shimamura T, Suzuki M. A recurrent HNP from the same lumbar intervertebral disc long after surgery for its treatment and then the recurrent HNP disappeared. The 13th Korean-Japanese Combined Orthopaedic Symposium; 2002;
4. Yamazaki K, Murakami H, Sato K, Yoshida S, Shimamura T. Evaluation of posterior corrective fusion for scoliosis using Tekmilon tape. Japanese -Korean Combined Orthopaedic Symposium(JKCOS);2005; Gifu. Japan.
5. Murakami H, Yamazaki K, Yoshida S, Sato K, Hutton W, Shimamura T. A biomechanical study of three different types of wire used for constructs in the thoracic spine. Japanese -Korean Combined Orthopaedic Symposium (JKCOS);2005; Gifu. Japan.

V-4 シンポジウム (国内学会)

1. 山崎 健, 鳥羽 有, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 関節リウマチにおける頸椎病変の手術タイミング. 第14回日本リュウマチ学会、北海道・東北支部学術集会シンポジウム : 2004 : 秋田
2. 村上秀樹, 川村竜平, 堀井高文, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. シンポジウム 腰椎変性側弯症進行例の検討. 第59回東日本整形災害外科学会;2010 ; 盛岡.
3. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正, 思春期特発性側弯症 100例の手術合併症の検討. 第40回日本脊椎脊髄病学会シンポジウム”医療安全“ ; 2011; 東京.
4. 吉田知史, 村上秀樹, 菊池孝幸, 山崎 健, 嶋村 正. シンポジウム 骨粗鬆症性椎体骨折後偽関節による遅発性麻痺に対する脊椎後方短縮術の術後成績の検討. 第61回東日本整形災害外科学会 ; 2012; 高崎

5. 村上秀樹、山崎 健、遠藤寛興、川村竜平、土井田稔、シンポジウム 成人脊柱変形。；腰椎変性側弯進行の X 線学的危険因子。第 48 回日本側弯症学会：2014；盛岡

V-5 一般演題（国際学会）

1. Shimamura T, Yamazaki K, Abe M. Laminoplasty enlargement of the spinal canal by sagittal splitting of the spinous process for cervical myelopathy : Technical improvements and surgical results. The 17th Congress of SICOT; 1987 ; Paris. France
2. Yamazaki K, Shimamura T, Abe M. Postoperative evaluation of lumbar spinal canal stenosis –Change of Epidural space and paravertebral muscle on CTM and MRI. SICOT96 ; 1996;Amsterdam. Netherland.
3. Yamazaki K, Shimamura T, Abe M. Mobile Spinal Cord Tumor. The International Conference on Spinal Surgery (ICSS '96) ; 1996 ; Taipei. Taiwan.
4. Murakami H, Shimamura T, Yamazaki K, Kato S, Abe M, Kan E. Cervical anterior decompression and fusion using hydroxyapatite blocks. The 3rd Combined Meeting of Spinal and Paediatric Sections of WPOA ;1996; Kochi. Japan.
5. Murakami H, Shimamura T, Yamazaki K, Kato S, Toba T, Konari Y, Abe M. Gene expression of BMP isoform in the ligamentum flavum. The 5th International Symposium of JRME; 1997 ; Soul. Korea.
6. Shimamura T, Abe M, Yamazaki K, Kato S, Murakami H, Konari Y. Sagittal splitting laminoplasty for the upper cervical spine. The 5th International Symposium of JRME; 1997 ;
7. Yamazaki K, Shimamura T, Kato S, Murakami H, Konari Y, Abe M. Postoperative evaluation of lumbar spinal canal stenosis. '97 SICOT; 1997; Taipei. Taiwan.
8. Shimamura T, Abe M, Yamazaki K, Kato S, Murakami H, Konari Y. Experience of atlanto-axial fusion using our triple wiring method. The 14th Annual Meeting of PPSA · JC; 1997 ; Tokyo. Japan.
9. Yamazaki K, Kato S, Murakami H, Shimamura T. Surgical procedure for cervical laminoplasty using a threadwire saw (T-saw). The 21st. Congress of SICOT. 1999; Sydney. Australia.
10. Yamazaki K, Kato S, Toba T, Shimamura T. Postoperative outcome of lumbar spinal canal stenosis after fenestration – over 5years follow up study-. SICOT2003 ; 2003;Cairo.Egypt.
11. Yamazaki K, Kato S, Toba T, Shimamura T. Evaluation of posterior corrective fusion for idiopathic scoliosis using Tekmilon Tape. Euro Spine2003 ; 2003 ; Praha.Czech.
12. Yamazaki K. A clinical study of posterior lumbar interbody fusion(PLIF). Euro-spine Training Course2003 ; 2003 ; Marseille.France.
13. Murakami H, Toba T, Yamazaki K, Yoshida S, Sato Kazuhiro. Posterior occitocervical reconstruction using cervical pedicle screw. '06 Spine across the sea.2006; Hawaii.USA.
14. Yoshida S, Murakami H, Sato K, Yamazaki K, Shimamura T. A biomechanical study

of three different types of sublaminar anchor used for construct in the thoracic spine. '06 Spine across the sea.2006; Hawai.USA.

15. Yamazaki K, Murakami H, Yoshida S, Sato K, Shimamura T. Evaluation of posterior corrective fusion for adolescent idiopathic scoliosis by rod rotation maneuver with ultra high molecular weight polyethylene tape. '06Euro Spine.2006; Istanbul.Turkey.
16. Sato K, Yamazaki K, Endo H, Murakami H, Shimamura T. A case of rapidly progressive infantile scoliosis treated by growing rod system with all pedicle screws. 1st International Congress on Early Onset Scoliosis & Growing Spine(ICEOS);2007;Madrid.Spain.
17. Yamazaki K, Murakami H, Yoshida S, Sato K, Shimamura T. Evaluation of posterior corrective fusion for adolescent idiopathic scoliosis by rod rotation maneuver with ultrahigh molecular weight polyethylene tape. Scoliosis Research society regional meeting. 2007 ; Budapest. Hungary.
18. Shimaya T, Yamazaki K, Yoshida S, Murakami H, Shimamura T. The casereports of the dual growing rod method using screws of the foundation in both the upper and lower spine. 2nd International Congress on Early Onset Scoliosis & Growing Spine(ICEOS);2008 ; Montreal. Canada.
19. Murakami H, Yamazaki K, Yoshida S, Sato K, Endo H, Shimamura T. Posterior occipitocervical reconstruction using cervical pedicle screw system for rheumatoid arthritis comparison with segmental spinal instrumentation system. 2008Spine Week in Europe;2008; Geneva. Switzerland.
20. Murakami H, Yoshida S, Sato K, Endo H, Yamazaki K, Shimamura T. Study on intermedullary signal intensity changes on T2-weighted image of the chronic cervical myelopathy using high tesla magnetic imaging. 2008Spine Week in Europe;2008; Geneva. Switzerland.
21. Yamazaki K, Murakami H. The dual growing rod using pedicle screw foundation in the both of upper and lower spine. The 3rd International Congress on early onset Scoliosis and Growing spine; 2009; Istanbul. Turkey
22. Murakami H, Yamazaki K, Yoshida S, Endo H, Kawamura R, Shimamura T. Risk factor of pedicle screw misplacement in idiopathic scoliosis surgery using computer-assisted technique. 37th International society for the study of the lumbar spine; 2010: Auckland. New Zealand
23. Sugawara A, Murakami H, Yoshida S, Kawamura R, Yamazaki K, Shimamura T. Quantitative assessment of early lumbar vertebral disc degeneration using T2mapping and delayed gadolinium-enhanced magnetic resonance imaging. 37th International society for the study of the lumbar spine; 2010: Auckland. New Zealand
24. Murakami H, Yamazaki K, Kawamura R, Yoshida S, Yoshino H, Shimamura T. Radiological evaluation on risk factors of degenerative lumbar scoliosis. 18th International Meeting on Advanced Spine Techniques (IMAST);2011 ; Copenhagen.

Denmark.

25. Yamazaki K, Murakami H, Yoshida S, Shimamura T. A clinical study of postoperative infection in adolescent idiopathic scoliosis patients. 18th International Meeting on Advanced Spine Techniques (IMAST);2011 ; Copenhagen. Denmark.
26. Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Matsumoto M, Watanabe K, Takeshita K, Ito M, Taneichi H, Hirano T, Yanagida H, Yamazaki K, Yamamoto T, Imagama S, Minami S. The effect of early fusion patients and 39 Growing rod patients. 46th SRS Annual meeting &course; 2011; Kentucky. USA. **(Multicenter study)**
27. Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Uno K, Matsumoto M, Watanabe K, Yamamoto T, Hirano T, Taneichi H, Yamazaki K, Fujiwara K. Radiological analysis of progression in congenital scoliosis with rib anomalies during growth period. 46th SRS Annual meeting &course; 2011 ; Kentucky. USA. **(Multicenter study)**
28. Watanabe K, Matsumoto M, Uno K, Kawakami N, Tsuji T, Ito M, Hirano T, Yamazaki K, Minami S, Taneichi H, Imagama S, Takeshita K, Yamamoto T. Outcome of Growing rod techniques in early onset scoliosis multicenter study in Japan. 46th SRS Annual meeting &course; 2011; Kentucky. USA. **(Multicenter study)**
29. Sugawara A, Murakami H, Yoshida S, Akasaka T, Yamazaki K, Shimamura T. Quantitative assessment of early lumbar vertebral disc degeneration using axial T2 mapping and delayed Gadolinium enhanced Magnetic Resonance Imaging. Orthopaedic Research Society 2012 Annual Meeting ; 2012;San Francisco. USA.
30. Murakami H, Yamazaki K, Yoshida S, Endo H, Yamabe D, Shimamura T. Radiological risk factors of curve progression in degenerative lumbar scoliosis. 2012 American Academy of Orthopaedic Surgeons(AAOS);2012; San Francisco.USA.
31. Yamazaki K, Shimaya T, Murakami H, Shimamura T. Assessment of spinal curvature flexibility by traction in adolescent idiopathic scoliosis (AIS). 19th International Meeting on Advanced Spine Techniques(IMAST);2012; Istanbul. Turkey.
32. Shimaya T, Yamazaki K, Shimamura T. Evaluation of patients' outcomes using SRS outcomes instrument (SRS - 22), Short Form - 36 (SF - 36), Beck Depression Second Edition (BDI - II) and radiologic results in idiopathic scoliosis patients. 19th International Meeting on Advanced Spine Techniques(IMAST);2012; Istanbul. Turkey.
33. Endo H, Yamazaki K, Yamabe D, Yoshida S, Murakami H, Shimamura T. A clinical study of postoperative complications in 120 adolescent idiopathic scoliosis patients. 19th International Meeting on Advanced Spine Techniques(IMAST);2012; Istanbul. Turkey.
34. Takeshita K, Arai Y, Shirado Osamu, Doi T, Yamazaki K, Uno K, Yanagida H. Development and a Validation Study of a New Questionnaire for Adolescent Idiopathic Scoliosis. Scoliosis Research Society 47th Annual Meeting & Course2012; Chicago, USA. **(Multicenter study)**

35. Yamato Y, Matsuyama Y, Ito Manabu, Yamazaki K, Taneichi H, Nohara Y, Matsumoto M, Tanaka M, Suzuki N. Relationship between Spino-Pelvic parameters and QOL in Adult Spinal Deformity in Japanese Patients : Which factor is Important for Better QOL in Treatment of Adult Spinal Deformity? Scoliosis Research Society 47th Annual Meeting & Course2012; Chicago, USA. **(Multicenter study)**
36. Yamazaki K, Murakami H : Incidence of surgery after brace treatment in patients with adolescent idiopathic scoliosis (AIS). Scoliosis Research Society 48th Annual Meeting & Course2013; Lyon, France
37. Watanabe K, Matsumoto M, Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Ito M, Yamazaki K, Minami S, Taneichi H, Imagama S, Takeshita K, Yamamoto T : Risk factor for proximal junctional kyphosis associate with Growing-Rod surgery for early onset scoliosis. Scoliosis Research Society 48th Annual Meeting & Course2013; Lyon, France**(Multicenter study)**
38. Watanabe K, Matsumoto M, Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Ito M, Yamazaki K, Minami S, Taneichi H, Imagama S, Takeshita K, Yamamoto T : Risk factor for unsatisfactory correction of spinal deformity associated with Growing-Rod surgery for early onset scoliosis. Scoliosis Research Society 48th Annual Meeting & Course2013; Lyon, France**(Multicenter study)**
39. Watanabe K, Matsumoto M, Uno K, Suzuki T, Kawakami N, Tsuji T, Yanagida H, Ito M, Yamazaki K, Minami S, Taneichi H, Imagama S, Takeshita K, Yamamoto T, Yonezawa I : Problems of Growing-Rod Treatment: Results of Patients who Completed Rod Lengthening. Scoliosis Research Society 48th Annual Meeting & Course2014; Anchorage, USA **(Multicenter study)**

V-6 一般演題（国内学会）主要参加学会別

A. 日本整形外科学会学術集会

1. 山崎 健, 久保谷康夫, 奥野 信, 田澤睦夫. Lumbar Spinal CT の検討—腰椎非骨性椎間のCT所見—. 第56回日本整形外科学会学術集会; 1983 ; 京都.
2. 山崎 健, 嶋村 正, 奥野 信. CTによる腰椎後方要素の検討—椎間関節、椎弓の形態的検討—. 第57回日本整形外科学会学術集会; 1984; 札幌.
3. 山崎 健, 阿部正隆, 嶋村 正, 工藤浩一. 青壮年期の腰痛症の検討—特にBallooning Discについて—. 第60回日本整形外科学会学術集会 ; 1987 ; 新潟.
4. 山崎 健, 嶋村 正, 室岡玄洋, 小成嘉誉, 阿部正隆. 腰部脊柱管狭窄症の術後評価. 第67回日本整形外科学会学術集会 ; 1994; 仙台.
5. 嶋村 正, 山崎 健, 室岡玄洋, 小成嘉誉, 阿部正隆. RA 頸椎手術に際しての問題点. 第67回日本整形外科学会学術集会 ; 1994; 仙台.
6. 山崎 健, 嶋村 正, 遠藤康二郎, 阿部正隆, 腰椎変性すべり症の手術療法—固定群、非固定群の術後評価—. 第68回日本整形外科学会学術集会 ; 1995; 横浜.
7. 嶋村 正, 山崎 健, 一戸克明, 薄井知道, 遠藤康二郎, 阿部正隆. 環軸椎後方固定 triple wiring 法の検討—手術成績と問題点—. 第68回日本整形外科学会学術集会; 1995 ; 横浜.

8. 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 阿部正隆. 腰部脊柱管狭窄症の術後評価 (第2報) —硬膜外および傍脊柱筋の変化—. 第69回日本整形外科学会学術集会;1996 ; 東京
9. 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 阿部正隆. 腰部脊柱管狭窄症の術後評価 (第3報) —開窓術後の硬膜内外の変化—. 第70回日本整形外科学会学術集会;1997 ; 札幌.
10. 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 阿部正隆. 腰椎変性すべり症の手術療法—固定群・非固定群の比較—. 第71回日本整形外科学会学術集会 ; 1998 ; 徳島.
11. 山崎 健, 吉田知史, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後成績と満足度. 第72回日本整形外科学会学術集会 ; 1999;横浜.
12. 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 福井 元, 嶋村 正. 腰椎変性すべり症の術後成績と満足度—固定群・非固定群の比較—. 第73回日本整形外科学会学術集会;2000;神戸.
13. 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 嶋村 正. 腰椎変性すべり症の開窓術後の評価—5年以上追跡例の検討—. 第74回日本整形外科学会学術集会;2001;千葉. (優秀ポスター賞)
14. 加藤貞文, 鳥羽 有, 山崎 健, 嶋村 正. 脊髄腫瘍手術における脊椎再建術の検討 ; 第74回日本整形外科学会学術集会 ; 2001;千葉.
15. 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後成績—開窓術後5年以上経過例の検討—. 第75回日本整形外科学会学術集会 ; 2002;岡山.
16. 山崎 健, 加藤貞文, 村上秀樹, 鳥羽 有, 嶋村 正. 脊柱変形においてテクミロンテープを用いた後方矯正固定術 (ISOLA 法) の検討. 第76回日本整形外科学会学術集会 ; 2003;金沢.
17. 田中靖久, 紺野慎一, 菊地臣一, 国分正一, 島田洋一, 嶋村 正, 山崎 健, 横山 徹, 武井 寛. 腰部脊柱管狭窄症の診断—自記式問診票の開発—. 第78回日本整形外科学会学術集会 ; 2005; 横浜. (多施設共同研究)
18. Yamazaki K, Yoshida S, Sato K, Murakami H, Shimamura T. Postoperative Outcome of Lumbar Spinal Canal Stenosis after Fenestration Correlation with Change in Intradural and Extradural Tube on Magnetic Resonance Imaging. The 79th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association ; 2006; Yokohama.
19. 村上秀樹, 丸山盛貴, 遠藤寛興, 佐藤和宏, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. 加齢に伴う椎間板基質成分の量的変化. 第79回日本整形外科学会学術集会 ; 2007; 金沢.
20. 田中靖久, 国分正一, 紺野慎一, 武井 寛, 島田洋一, 山崎 健, 横山 徹, 川原 央. 腰部椎間板ヘルニアに対する診断サポートツール. 第79回日本整形外科学会学術集会 ; 2007; 金沢. (多施設共同研究)
21. 村上秀樹, 丸山盛貴, 遠藤寛興, 佐藤和宏, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. 加齢に伴う椎間板基質成分の量的変化. 第79回日本整形外科学会学術集会 ; 2007; 金沢.
22. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 腰椎変性すべり症の拡大開窓術後の評価—10年以上追跡例の検討—. 第80回日本整形外科学会学術集会 ; 2007; 神戸.
23. 紺野慎一, 菊地臣一, 国分正一, 田中靖久, 島田洋一, 嶋村 正, 山崎 健, 横山 徹, 武井 寛. 腰部脊柱管狭窄症の診断—自記式問診票の開発—. 第80回日本整形外科学会学術集会 ; 2007; 神戸. (多施設共同研究)
24. 山崎 健, 村上秀樹, 佐藤和宏, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症の装具療法. 第81

- 回日本整形外科学会学術集会；2008；札幌.
25. 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 佐藤和宏, 遠藤寛興, 内村瑠里子, 嶋村 正. 脊髄圧迫病変の高磁場 MR 画像による三次元形態計測と神経学的臨床所見の対比検討. 第 81 回日本整形外科学会学術集会；2008；札幌.
 26. Murakami H, Yamazaki K, Yoshida S, Sato K, Endo H, Uchimura R, Shimamura T. Posterior occipitocervical reconstruction with segmental spinal instrumentation system. The 79th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association.；2008；Sapporo.
 27. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査. 第 82 回日本整形外科学会学術集会；2009；福岡.
 28. 赤沢 努, 南 昌平, 宇野耕吉, 山崎 健, 新井康久, 竹下克志, 持田譲治. 我国の側弯症治療の現況と問題点. 第 82 回日本整形外科学会学術集会；2009；福岡. (多施設共同研究)
 29. 山崎 健, 村上秀樹, 島谷剛美, 吉田知史, 川村竜平. 特発性側弯症の胸椎カーブに対する三次元矯正法の検討. 第 83 回日本整形外科学会学術集会；2010；東京
 30. 武井 寛. 山崎 健. 宮腰尚久, 小澤浩司, 小野 睦, 矢吹省司, 田中靖久, 紺野慎一, 国分正一. 保存療法を行った腰部脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア患者の実態調査—第 1 報—. 第 83 回日本整形外科学会学術集会；2010；東京. (多施設共同研究)
 31. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査. 第 84 回日本整形外科学会学術集会；2011；横浜.
 32. 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 山部大輔, 嶋村 正. Dual growing rod 法による幼少期発症側弯症の治療成績. 第 84 回日本整形外科学会学術集会；2011；横浜.
 33. 武井 寛, 山崎 健, 宮腰尚久, 小澤浩司, 小野 睦, 矢吹省司, 紺野慎一, 国分正一. 保存療法を行った腰部脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア患者の実態調査—第 2 報—. 第 84 回日本整形外科学会学術集会；2011；横浜. (多施設共同研究)
 34. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 遠藤寛興, 山部大輔, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症の装具療法. 第 85 回日本整形外科学会学術集会；2012；京都.
 35. 宇野耕吉, 川上紀明, 松本守雄, 伊東 学, 南 昌平, 種市 洋, 平野 徹, 山元拓哉, 竹下克志, 山崎 健, 鈴木哲平. 早期発症側弯症に対する手術—固定術と growing rod 法との比較—. 第 85 回日本整形外科学会学術集会；2012；京都. (多施設共同研究、パネルディスカッション)
 36. 村上秀樹, 安藤貴信, 遠藤寛興, 山部大輔, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. RA 環軸椎亜脱臼術後の軸椎下障害発生危険因子. 第 85 回日本整形外科学会学術集会；2012；京都.

B. 日本側弯症学会

1. 山崎 健, 加藤貞文, 村上秀樹, 鳥羽 有, 嶋村 正. 特発性側弯症においてテクミロンテープを用いた後方矯正固定 (ISOLA 法) の検討. 第 36 回日本側弯症学会；2001:札幌.
2. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症に対する後方矯正法の検討. 第 39 回日本側弯症学会；2005;東京.

3. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 思春期特発性側彎症に対して Rod Rotation Maneuver (RRM) と Ultra High Molecular Weight Polyethylene (UHMWP) テープを用いた後方矯正固定の検討. 第 40 回日本側弯症学会;2006;京都
4. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 特発性側弯症に対するロッド回転式矯正法の限界. 第 41 回日本側弯症学会;2007;名古屋.
5. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症の後方矯正固定術. 第 42 回日本側弯症学会 ; 2008;奈良.
6. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症に対する Dual rod rotation with hook rotation maneuver (DRHRM). 第 43 回日本側弯症学会 ; 2009 : 東京.
7. 島谷剛美, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症患者における患者アウトカム評価の検討. 第 43 回日本側弯症学会 ; 2009 ; 東京.
8. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 島谷剛美, 嶋村 正. 牽引下 CT による側弯カーブの flexibility の三次元的評価—頂椎部の flexibility について. 第 44 回日本側弯症学会 ; 2010 ; 札幌.
9. 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 吉野仁浩, 嶋村 正. 側弯症手術に対する予防的抗生剤投与—投与期間での比較—. 第 44 回日本側弯症学会 ; 2010 ; 札幌.
10. 内村瑠里子, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正, 世良耕一郎. 脊柱側弯症術後の血液・毛髪チタン含有量に対する検討. 第 44 回日本側弯症学会 ; 2010 ; 札幌.
11. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 遠藤寛興, 嶋村 正. 牽引下 CT による Lenke type1 の矢状面カーブの検討. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
12. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 遠藤寛興, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症の flexibility の検討. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
13. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 遠藤寛興, 嶋村 正, 思春期からみた成人期側弯症. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
14. 吉田知史, 山崎 健, 村上秀樹, 遠藤寛興, 山部大輔, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症 Lenke type1 に対する術式別術後成績の検討. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
15. 遠藤寛興, 山崎 健, 山部大輔, 吉田知史, 村上秀樹, 吉野仁浩, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症 108 例の手術合併症の検討. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
16. 吉野仁浩, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 村上秀樹, 遠藤寛興, 山部大輔, 嶋村 正. 当科における Dual growing rod 法による幼児期発症側弯症の治療成績. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米.
17. 川上紀明, 辻 太一, 柳田晴久, 宇野耕吉, 松本守雄, 渡辺航太, 山元拓哉, 平野 徹, 種市 洋, 山崎 健, 藤原憲太, 今釜史郎. 肋骨癒合を合併した先天性側弯症成長期における自然経過の検討. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米. (多施設共同研究)
18. 渡辺航太, 松本守雄, 宇野耕吉, 川上紀明, 辻 太一, 柳田晴久, 南 昌平, 平野 徹, 山崎 健, 伊東 学, 種市 洋, 今釜史郎, 竹下克志, 山元拓哉. 乳幼児側弯症に対する Growing Rod 法の合併症について—多施設研究. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米. (多施設共同研究)

19. 竹下克志, 新井康久, 白土 修, 土肥徳秀, 山崎 健, 宇野耕吉, 柳田晴久, 赤井正美, 岩谷 力. 日本版特発性側弯症 QOL 評価尺度の妥当性検証. 第 45 回日本側弯症学会 ; 2011 ; 久留米. (多施設共同研究)
20. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 菊池孝幸, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症の装具療法. 第 46 回日本側弯症学会 ; 2012 : 神戸
21. 山元拓哉, 山崎 健, 種市 洋, 平野 徹. 本邦における Thoracic insufficiency syndrome の発生率調査-4 県での調査から- : 2012 : 神戸. (多施設共同研究)
22. 渡辺航太, 松本守雄, 宇野耕吉, 川上紀明, 辻 太一, 柳田晴久, 平野 徹, 山崎 健, 南 昌平, 伊東 学, 種市 洋, 今釜史郎, 竹下克志, 山元拓哉. 乳幼児側弯症に対する Growing Rod 法の合併症発生危険因子-多施設研究-. 第 46 回日本側弯症学会 ; 2012 ; 神戸. (多施設共同研究)
23. 遠藤寛興, 山崎 健, 村上秀樹, 月村悦子, 張簡鴻宇, 菅 重典, 山部大輔, 菊池孝幸, 沼田徳生. 思春期特発性側弯症 Lenke type1BC, 2BC カーブに対する選択的胸椎固定術の手術成績の検討. 第 48 回日本側弯症学会 ; 2014 ; 盛岡
24. 菊池孝幸, 山崎 健, 吉田知史, 村上秀樹, 遠藤寛興, 山部大輔, 菅 重典, 月村悦子, 土井田 稔, 沼田徳生. 日本人若年者における立位脊柱矢状面アライメント- 脊柱側弯症 2 次検診における Cobb 角 10 度未満例での検討- 第 48 回日本側弯症学会 ; 2014 ; 盛岡
25. 月村悦子, 遠藤寛興, 菅 重典, 張簡鴻宇, 熊谷瑠里子, 土井田稔, 山部大輔, 菊池孝幸, 沼田徳生, 山崎 健. 思春期特発性側弯症の後方矯正固定術の術後感染に対する検討. 第 48 回日本側弯症学会 ; 2014 ; 盛岡

C. 日本脊椎脊髄病学会(2001~) 2001 以前の名称は日本脊椎外科学会

- 1 嶋村 正, 山崎 健, 菅 義行, 小成嘉誉, 鳥羽 有, 阿部正隆. Triple wiring 法による環軸椎固定-その成績と問題点-. 第 23 回日本脊椎外科学会 ; 1994 ; 神戸.
- 2 嶋村 正, 山崎 健, 宗像孝佳, 遠藤康二郎, 和泉 在, 阿部正隆. 転移性脊髄腫瘍の手術成績と患者満足度評価. 第 24 回日本脊椎外科学会 ; 1995 ; 東京.
- 3 山崎 健, 嶋村 正, 宗像孝佳, 遠藤康二郎, 阿部正隆. 後方法による腰椎損傷の治療経験. 第 24 回日本脊椎外科学会 ; 1995 ; 東京.
- 4 嶋村 正, 山崎 健, 加藤貞文, 宗像孝佳, 菅原靖則, 田島育郎, 阿部正隆. 環軸椎縦割椎弓形成の経験. 第 25 回日本脊椎外科学会 ; 1996 ; 名古屋
- 5 山崎 健, 嶋村 正, 加藤 貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 阿部正隆. 移動性脊髄腫瘍の治療経験. 第 26 回日本脊椎外科学会 ; 1997 ; 札幌.
- 6 村上秀樹, 嶋村 正, 山崎 健, 加藤貞文, 小成嘉誉, 阿部正隆. Hydroxyapatite block による頸椎前方固定術の経験. 第 26 回日本脊椎外科学会 ; 1997 ; 札幌.
- 7 山崎 健, 加藤貞文, 村上秀樹, 小成嘉誉, 嶋村 正. T-saw 使用による頸椎椎弓形成術の経験. 第 27 回日本脊椎外科学会 ; 1998 ; 名古屋.
- 8 山崎 健, 嶋村 正, 加藤貞文, 村上秀樹. 変性すべり症の術後成績と満足度. 第 28 回日本脊椎外科学会 ; 1999 ; 東京.
- 9 小成嘉誉, 加藤貞文, 山崎 健, 嶋村 正, 和田俊夫. HA スペースーを使用した脊椎前方除圧固定術の検討-破損例について-. 第 28 回日本脊椎外科学会 ; 1999 ; 名古屋.

- 10 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後成績と満足度. 第30回日本脊椎脊髄病学会 ; 2001 ; 横浜.
- 11 山崎 健, 村上秀樹, 鳥羽 有, 加藤貞文, 嶋村 正, 鈴木正弘. 術後長期経過した同一高位、再発腰椎椎間板ヘルニアの縮小、消失の2例. 第32回日本脊椎脊髄病学会 ; 2003 ; 福岡.
- 12 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後成績—術後10年以上経過例の検討—. 第35回日本脊椎脊髄病学会 ; 2007 ; 東京.
- 13 村上秀樹, 鳥羽 有, 山崎 健, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 関節リウマチに対する頸椎椎弓根スクリュー使用による後頭頸椎再建術. 第35回日本脊椎脊髄病学会 ; 2007 ; 東京.
- 14 佐藤和宏, 村上秀樹, 吉田知史, 山崎 健, 嶋村 正. 頸椎前方脱臼に対する椎弓根スクリューを使用し後方固定術の検討. 第35回日本脊椎脊髄病学会 ; 2007 ; 東京.
- 15 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後評価. 第37回日本脊椎脊髄病学会 ; 2008 ; 東京
- 16 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症の後方インストゥルメンテーション手術の検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会 ; 2009 ; 神戸.
- 17 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の術後評価. 第37回日本脊椎脊髄病学会 ; 2008 ; 東京
- 18 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 特発性側弯症の後方インストゥルメンテーション手術の検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会 ; 2009 ; 神戸.
- 19 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 菅原 敦, 島谷剛美, 嶋村 正. 特発性側弯症手術に対するコンピュータナビゲーションシステム使用下椎弓根スクリュー刺入に関する検討. 第38回日本脊椎脊髄病学会 ; 2009 ; 神戸.
- 20 武井 寛, 山崎 健, 宮腰尚久, 小澤浩司, 小野 睦, 矢吹省司, 紺野慎一, 国分正一. 保存療法を行った腰部脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア患者の前向き調査—. 第40回日本脊椎脊髄病学会 ; 2011 ; 東京. (多施設共同研究)
- 21 村上秀樹, 山崎 健, 川村竜平, 遠藤寛興, 吉田知史, 嶋村 正. 腰椎変性側弯進行の要因に関するX線学的検討. 第40回日本脊椎脊髄病学会 ; 2011 ; 東京. (パネル)
- 22 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 遠藤寛興, 嶋村 正. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査. 第41回日本脊椎脊髄病学会 ; 2012 ; 久留米.
- 23 村上秀樹, 川村竜平, 山崎 健, 嶋村 正. 腰椎変性側弯進行のX線学的危険因子. 第41回日本脊椎脊髄病学会 ; 2012 ; 久留米.
- 24 大和 雄, 長谷川智彦, 小林 祥, 安田達也, 松山幸弘, 伊東 学, 山崎 健, 種市 洋, 松本守雄, 田中雅人. 成人胸腰椎後側弯症のX線パラメーターとADL障害関連性の検討—多施設横断調査—. 第41回日本脊椎脊髄病学会 ; 2012 ; 久留米. (多施設共同研究)
- 25 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 菊池孝幸, 嶋村 正. 3D-CTによるLenke type5の矢状面カーブの検討. 第42回日本脊椎脊髄病学会 ; 2013 ; 沖縄

VI-1 その他国内学会

1. 山崎 健, 嶋村 正, 一戸克明, 阿部正隆. 移動性脊髄腫瘍の治療経験. 第83回中部整

- 形災害外科学会；1995；大津.
2. 山崎 健, 加藤貞文, 鳥羽 有, 嶋村 正. 脊柱変形に対してテクミロンテープを用いた後方固定術. 第13回日本インストゥルメンテーション学会；2003；静岡.
 3. 吉田知史, 村上秀樹, 佐藤和宏, 山崎 健, 嶋村 正. Sublaminar anchorとしての超高分子ポリエチレンテープの有用性の検討—stainless steel wire, titanium cableとの生体力学的比較. 第14回日本インストゥルメンテーション学会；2005；名古屋.
 4. 村上秀樹, 山崎 健, 西田 淳, 白石秀夫, 吉田知史, 佐藤和宏, 嶋村 正. 仙骨腫瘍切除後の血管柄付骨移植を併用した脊椎腸骨固定術に対する検討. 第14回日本インストゥルメンテーション学会；2005；名古屋.
 5. 山崎 健, 嶋村 正, 鳥羽 有, 吉田知史. 関節リウマチの頸椎病変に対する手術療法. 第49回日本リウマチ学会総会・学術集会；2005；横浜.
 6. 島谷剛美, 山崎 健, 吉田知史, 村上秀樹, 嶋村 正. 第7回乳幼児側弯症研究会；2008；東京
 7. 菅原 敦, 村上秀樹, 吉田知史, 八重樫幸典, 山崎 健, 嶋村 正. 外傷後胸腰椎後弯変形の2例. 第17回日本インストゥルメンテーション学会；2008；東京.
 8. 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 川村竜平, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症に対する三次元矯正法—VCM(Vertebral Column Manipulation)を用いた矯正法. 第18回日本インストゥルメンテーション学会；2009；東京.
 9. 村上秀樹, 山崎 健, 吉田知史, 川村竜平, 嶋村 正. ナビゲーション下特発性側弯症手術における椎弓根スクリュー誤刺入の危険因子. 第18回日本インストゥルメンテーション学会；2009；東京
 10. 山崎 健, 古町克郎. 腰部脊柱管狭窄症の疫学調査—地方都市における一般住民の有病率調査—. 第47回日本リハビリテーション医学会学術集会；2010；鹿児島
 11. 内村瑠里子, 山崎 健, 沼田徳生, 村上秀樹, 吉田知史, 山部大輔, 鈴木 忠, 嶋村 正. 脊柱側弯症術後の血液・毛髪内チタン濃度に関する検討. 第20回日本インストゥルメンテーション学会；2011；福岡.
 12. 山部大輔, 村上秀樹, 吉田知史, 遠藤寛興, 山崎 健, 嶋村 正. 外傷後胸腰椎移行部・腰椎後弯変形に対する矯正固定術の検討. 第20回日本インストゥルメンテーション学会；2011；福岡.
 13. 島谷剛美, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正. 思春期特発性側弯症の術後アウトカム評価の検討—従来法と胸椎スクリュー法の比較—. 第59回東日本整形災害外科学会；2010；盛岡.
 14. 内村瑠里子, 山崎 健, 村上秀樹, 吉田知史, 嶋村 正, 世良耕一郎. 脊柱側弯症術後の血液・毛髪内チタン含有量に関する検討. 第59回東日本整形災害外科学会；2010；盛岡.

VI-2 その他 (医報, 医師会報など)

1. 山崎 健. 腰部脊柱管狭窄症の病態と治療. 水沢医師会月報. 2003；472. : 19-21.
2. 山崎 健. 腰部脊柱管狭窄症の病態と治療. 釜石医師会月報. 2003；. 252. : 11-15.
3. 山崎 健. 腰部脊柱管狭窄症の診断と治療. いわて医報. 2004；12 ; 19.

4. 山崎 健. 椎間板ヘルニアは消える！ スポット医学講座（No.1）. 岩手医科大学報. 2004;. 366 : 12.
5. 山崎 健. 岩手県における脊柱側弯症診療の現状と問題点. 健康いわて. 2011;257 : 6.
6. 山崎 健. 岩手県における脊柱側弯症診療の現況と問題点. いわて医報. 2012;41-58
7. 山崎 健. 子の背中に病気のサイン 岩手日報論壇 平成 25 年 1 月 18 日号